



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 259

2017年

11~12月号

行 事 案 内

11月手賀沼探鳥会

期 日 11月12日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 案 内 JBFも終わり新入会員の方も沢山いるはず。皆さんで冬鳥を見に行きましょう！
 昨年は49種の鳥が確認されています！カモ達はもちろん、カンムリカイツブリ、チュウヒ、オオジュリンも帰ってきたよ！と皆さんにご挨拶してくれること間違いなしです。

解 散 正午
 担 当 小林(寿)、村井

12月手賀沼探鳥会

期 日 12月10日(日) 雨天中止
 集 合 我孫子市役所 午前9時
 案 内 1年を締めくくる定例手賀沼探鳥会です。手賀沼の水鳥が勢ぞろいし、ミコアイサも姿を見せてくれるでしょう。冬の猛禽類の常連ハヤブサ、ミサゴの雄姿に期待するとともに、葦原のオオジュリン、ベニマシコの声に耳を澄ましましょう。毎年最も多くの鳥を観察できる季節です。冬鳥との出会いを楽しみましょう。

解 散 正午
 担 当 小澤

11月、12月ピオトープ調査

期 日 11月2日(木) 雨天延期
 12月7日(木) 雨天延期
 集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
 案 内 昨年の11-12月は留鳥の他に冬鳥のオオジュリン、コガモ、タゲリ、セグロカモメ、ユリカモメが見られ、11月22種、12月20種観察出来ました。ピオトープ周辺の木の花はサザンカ、シモツケが咲き、木の実はクス、ヤツデ、ユズリハ、キツタ等がなり、野草の花はホトケノザ、セイタカアワダチソウ等の花が咲き、ヒメガマ、イノコズチの実がなりません。11月までは蝶：キタテハ、ヒメアカタテハ、ツマグロヒョウモン、ウラナミシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、トンボ：アキアカネ、イトトンボが飛びますが、12月になると蝶、トンボ等の昆虫は見られなくなります。晩秋～初冬の雰囲気を感じながら探鳥をしてみましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解 散 午前11時30分
 担 当 鈴木静治
 Tel: 080-3121-4757

11月、12月手賀沼定点カウント

期 日 11月1日(水) 雨天延期
12月1日(金) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時
解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮
Tel : 04-7182-3149

ジャパンバードフェスティバル (JBF2017)

期 日 11月4日(土) 9:30~16:00
5日(日) 9:30~15:00
会 場 手賀沼親水広場、オオバン広場(水の館多目的広場)、アビスタ周辺、その他
案 内 メイン会場は手賀沼親水広場ですが、水の館がリニューアルオープンし、多目的広場をオオバン広場と称してブースが展開されます。アビスタ及びその周辺も会場となります。光学機器関係は親水広場、学生・NPOや一般団体はオオバン広場、講演・作品展はアビスタなどの予定です。当会の出展は、オオバン広場のテント、カッパ噴水前展望デッキの湖畔バードウォッチングのテント、手賀沼漁協棧橋付近の船上バードウォッチング船乗り場テントの3か所になります。

広 報 JBF全体のイベントについては、広報あびこの10月、11月号をご覧ください。

< 当会の出展内容等 >

「パネル展示」(オオバン広場テント)
当会の活動状況や会員が撮影した野鳥の写真等をパネルにして紹介します。テーマ「我孫子野鳥を守る会の活動と手賀沼の水鳥の変遷」
「野鳥の塗り絵とパタパタ工作」(オオバン広場テント)
野鳥の塗り絵とパタパタ工作を親子で楽しんでもらいます。

「庭に鳥を呼ぶ」(オオバン広場テント)
野鳥の好きな草木の実や餌を実物で紹介します。

「湖畔バードウォッチング」(カッパ噴水前展望デッキとテント)

湖畔の展望デッキから望遠鏡を使用して手賀沼の鳥を見て、楽しんでもらいます。

「船上バードウォッチング」(手賀沼漁協棧橋付近の船乗り場テント)

今年から有料化になることから、運営が実行委員会になり、当会はボランティアガイドでの参加になります。

遊覧船で手賀沼を一周し、船上から手賀沼の鳥と風景を楽しんでもらいます。

その他

海外から数か国のブース展示も行われ、当会はこれまで親交を深めている台湾とモンゴルをサポートします。

< 前日会場設営と当日参加のお願い >

当会出展の設営は、前日11月3日(金)の13時30分からオオバン広場の当会テントにご参集下さい。その後、各担当の出展場所へ移動し、設営作業を行います。11月4日(土) 9時~16時 各出展場所へ

11月5日(日) 9時~15時 各出展場所へ

* 会員の皆様の積極的なご参加とご協力をお待ちしております。

芋煮会 & 手賀沼遊歩道探鳥会

年末の恒例行事として実施して来た芋煮会ですが、ここ数年参加者に減少傾向が見られた為今年は一新致しました。実施時期を年末の繁忙期を避け、気候の良い11月に繰り上げました。又、会場までの足が不便な為2の足を踏んでいた皆様を考慮し、鳥博前より会場までの送迎車を用意致します。まだ冬鳥の出揃いには少し早いかも知れませんが、探鳥会も実施致します。...と言う事で今年是非多くの方々に参加して頂き盛大な芋煮会を楽しみたいと考えますので、奮ってご参加下さい。皆様からの申込を心よりお待ちしております。

して居ります。

尚、申込に際しましては 探鳥会から参加
鳥博前より送迎希望 会場へ直行 の
いずれかを明記願います。

期 日 11月23日(木)祭日：勤労感謝の日
雨天中止

集 合 探鳥組 鳥の博物館前 駐車場
午前9時30分

(我孫子駅南口より9時5分発天
王台行きで鳥博前下車)

*鳥博前に停車するバスは、9時
台はこの1本のみです。

送迎希望 鳥の博物館前 駐車
場

午前10時30分

(我孫子駅南口より10時発天王台
行きで鳥博前下車)

*鳥博前に停車するバスは、10時
台はこの1本のみです。

会場直行 午前11時より開始の
為、10分前には来場願います。

会 場 五本松公園 ふれあいキャンプ場

参加費 大人1,500円、小・中学生500円、
幼児無料

持 参 汁椀や箸・プレートなど持参される
と、他者と区別が付いて便利です。
酒類などの持ち込みは大歓迎です。

申 込 金子雅幸まで

Tel: 04-7133-6944

*各奉行の皆様は10時までに集合願います。
尚、改めての申込は不要です。

*定例探鳥会の折にも、申込を承ります。

*締 切 11月19日(日)まで

渡良瀬遊水地探鳥会

期 日 12月17日(日) 雨天中止

集 合 我孫子駅北口 午前8時

案 内 12月の渡良瀬遊水地探鳥会です。
同遊水地は約33平方kmもの広大な
面積があり、2012年には通称ラム
サール条約(水鳥湿地保全条約)に
登録された絶好の探鳥地です。

谷中湖では沢山の冬鳥、三つの調節
地ではベニマシコやコミミズク等

が期待できます。上空ではチュウヒ、
ハイロチュウヒ、チョウゲンボウ、
ノスリ等の猛禽類が期待できます。
希望者がいればハイロチュウヒ、
チュウヒのねぐら入りを観察した
いと思います。

交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人
1,500円を運転者にお渡し下さい。
自家用車を提供可能な方は申込時
にその旨ご連絡ください。

持 物 観察用具、防寒具、飲物、昼食(途
中購入可)

申 込 野口隆也まで

Tel: 04-7163-7898

担 当 石渡、野口(隆)

江戸崎・神之池・小見川探鳥会

期 日 1月8日(月・祝) 雨天中止

集 合 我孫子駅北口 午前8時

案 内 2年連続で年末に開催されていま
したが久しぶりに新春探鳥会にな
ります。探鳥コースは昨年から逆コ
ースで回ることになり、江戸崎(稲
敷市稲波干拓地)~神之池(神栖市)
~小見川の葦原となります。猛禽類
から水鳥まで多くを楽しめ、例年
50種以上が観察されています。江
戸崎のオオヒシクイ、神之池のミコ
アイサ、小見川のタカ類・コミミズ
クやほかの鳥たちとの思わぬ出会
いに期待しましょう。

交 通 自家用車分乗。便乗者は運転者に一
人1500円をお渡しください。申し
込みの際、自家用車を提供可能な方
はその旨ご連絡ください。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途
中購入可能)

申 込 小澤淳宏まで

携帯 090-4756-4607

担 当 小澤、松田

手賀沼親子ふれあい探鳥会

期 日 12月2日(土) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口ふれあい広場前
午前8時45分(20名:バスで移動)
または 手賀の丘公園どんぐりの家前
午前9時15分(20名)
解 散 正午
案 内 一般市民を対象にして当会会員が山野と水辺の鳥を案内し、子供達に探鳥の楽しみを伝える親子探鳥会です。参加者全員に「カラー写真入り野鳥チェックリスト」を進呈。更に野鳥ビンゴゲームで特製野鳥カードや野鳥ぬり絵セットをゲットできます。コースは手賀の丘公園～手賀沼南岸～手賀の丘公園です。会員の皆様もお子さんやお孫さんを誘ってぜひご参加ください！

参加費 無料
定 員 40名(小学生以下は保護者同伴)
申 込 野口隆也まで
Tel/Fax: 04-7163-7898
担 当 間野、船津、古出、桑森、松本、相良、千葉、野口(隆)

第27回 野鳥サロン

第27回『野鳥サロン』を、下記の日程・場所にて開催致すこととなりましたので、みなさま、いつものように、自由な雰囲気、気楽に気軽に、多数のご参集をいただければと、ご案内いたします。

テーマ

「鳥の翼を体感してみよう」(千葉洋) 簡単なモデルによる翼のデモンストレーションをみんなで体感した後、これを基にみんなで自由に想ったことを気軽に話しあう。

「スズメ・ツバメ・ドバト」など身近にいる鳥たちと、吾等「ヒト」との「出会い」「接点」の事例(3事例ほど)を、「トリ」の目から眺めてみたら(田中功)

猛禽「ツミ」の無声映像(DVD)をみんなで観て、思うところ・感想を話しあう(小林美智子)

日 時 11月18日(土) 13:00~15:00
(集合時間 13:00 ですが、5~10分ほど机椅子ほかの開催準備を行います。参加者のお手をお借りできればと期待しています)

場 所 水の館3階 研修室
会 費 一人300円(茶菓代)
申 込 田中功まで
Tel: 04-7182-4860
担 当 田中、小林(美)、千葉

統一クリーンデイ・ふれあい清掃

手賀沼ふれあい清掃と美手連統一クリーンデイに参加しましょう！

期 日 12月3日(日)
雨天の場合 12月10日(日)に延期
雨天延期の確認は当日7時30分以降テレドーム(0180-991173)で確認下さい。

集 合 手賀沼公園多目的広場 8時45分
(参加の事前申し込みは不要です)

行事予定 8:45~9:00 受付
9:00~9:15 開会式
9:15~10:30 清掃
10:30~11:00 閉会式・参加記念品の配布、ジャンケン大会
豚汁が昨年に引き続きふるまわれる予定です。

清掃作業コース 「根戸新田Bコース」手賀沼公園～根戸新田(沼側歩道下)

持 参 軍手
連絡先 携帯: 090-4756-4607

市民のチカラ2017 (旧「あびこ市民活動メッセ」)

期 日 11月25日(土) 10:00~15:30
(2Fホールは11:00~)

11月26日(日) 10:00~15:30

会 場 けやきプラザ 2Fホール他

案 内

「市民のチカラまつり」は、我孫子市の市民活動団体が中心となり、行政・学校・企業・商店など多様な機関と連携しながら実施する街づくり交流イベントで、昨年までの「市民活動メッセ」を発展させたものです。市民活動団体の活動紹介、体験型イベント、ステージ・パフォーマンス、講演、シンポジウムなど、様々な方法で市民活動が紹介・発表されます。実施時期は、昨年は9月でしたが、今年は11月に変更されています。

会場はけやきプラザ2Fふれあいホールを中心に入口エントランス広場及びアビシルベで、市内の様々な市民団体が参加し発表や展示を行います。また、7F研修室等では講演会・シンポジウム・フォーラムなどが開催されます。

< 当会の出展内容等 >

当会では、この市民活動イベントに継続して参加・出展しており、今回の出展内容は、

当会の活動紹介と探鳥会等で観察した写真のパネル展示、野鳥の写真をプロジェクター映写し鳥の名前を当てるクイズ「この鳥なーに？」や野鳥ビンゴなどの参加型ゲームを行う予定です。

パネルでは当会の活動状況や美しい写真

を展示し、楽しいふれあいや探鳥の感動をアピールします。鳥の名前当てクイズ「この鳥なーに？」は言わば野鳥観察を疑似体験するようなプログラムで初級・中級編の2パターンを用意しており、子供たちに大変人気があります。今年は、更に野鳥ビンゴゲームを取り入れる予定で、「楽しく学ぼう 身近な野鳥」をキャッチフレーズに来場者に楽しんでもらいます。

会員の皆さん、是非お立ち寄り下さい。また、スタッフとしてもご参加・ご協力をお願いいたく、ご協力いただける方は事務局桑森までご連絡をお願いします。(連絡先: 04-7182-3149)

11月役員会案内

日 時 11月12日(日) 13:00~15:30

場 所 水の館 3F 研修室

議 題

2018年度上期行事計画

会報 260号掲載予定記事

第2四半期会計報告

第28回野鳥サロン

報告事項

・JBF 2017 出展結果

・「市民のチカラ」出展準備状況

・芋煮会と手賀沼遊歩道準備状況

・対外対応状況ほか

その他(議題のある場合は桑森までご連絡ください。)

行 事 報 告

8月手賀沼探鳥会

日 時 2017.8.13(日) 8:00~11:00

晴れ 微風 28

鳥が少ない時期で、しかもお盆休みの最中でも、19名の皆さんが集まりました。真夏の探鳥会でしたが、暑さもそれほどではなく、

微風が心地よく感じました。

上沼では久し振りにミサゴが飛んでおり、シジュウカラやホオジロの幼鳥が観察できました。カルガモは水面より水田上を飛び交い田圃に下りて隠れていました。

鳥が少ない時期なのでハス群生地に立ち寄り、花蓮を鑑賞し、ここでは8月だというのにまだオオヨシキリの声が聞こえました。

下沼ではチュウサギにノスリが 2 羽、トビも良く観察できました。手賀川の千間橋まで足を伸ばしましたが、ヨシゴイは残念ながら観察できず、セッカの声が近くで聞こえました。

上沼ヒドリ橋では特定外来生物のナガエツルノゲイトウが大津川の水面に繁茂が広がり、ハス群生地でもハスが水面を覆い尽くしており、環境への影響が懸念されます。

<認めた鳥> コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、オオバン、ミサゴ、トビ、ノスリ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ 計 28 種

番外：カワラバト

<参加者> 間野吉幸、野口隆也、西嶋昭生、常盤孝義、坂元貴子、松田幸保、小林美智子、小林博之、関口英治、野倉元雄、菊地幸雄、菊地昌江、高波宣子、船津登、石井俊子、田丸喜昭、二國豊広、西城猛（担当）桑森亮 計 19 名

8 月手賀沼定点カウント

調査日時 2017.8.1 9:00~ 11:45

曇り時々小雨 27 ~ 29

親と同サイズの幼鳥が一緒に行動するシーンが幾つか見られたが、カイツブリは 2 度目の繁殖か、顔にヒナの模様を残した小さな姿であった。カイツブリ 17 羽の内、幼鳥は 6 羽

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	12	1	13
カルガモ	30	3	33
カイツブリ	4	13	17
カワウ	63	14	77
ゴイサギ	0	1	1
アオサギ	1	2	3
ダイサギ	5	2	7
チュウサギ	2	4	6
コサギ	1	0	1

クイ	1	0	1
オバン	3	1	4
コサギ	0	1	1
合計	122	42	164

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3 名

8 月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2017.8.3 8:30~ 11:00

曇り時々晴れ 無風 26~ 27

夏にしては気温低い。沼、池には鳥少ない。水田の稲穂が出、キジの 2 家族が畦、水田で餌探し、コサギ、カルガモ、スズメ、ハシボソガラスも見られた。ピオトープの池ではカルガモが泳ぎ、ゴイサギが池岸の草むらで休み、カワセミが鳴きながら飛ぶ。池の葦原でオオヨシキリが鳴き(ぐぜり)、多くのオオヨシキリの幼鳥が葦の間、柳、桜の木の茂みの中を動く。木の頂でホオジロが囀り、ハシボソガラスも木に止まる。スズメ、ツバメが飛ぶ。沼岸近くをカワウ、カルガモ、ダイサギが飛び、岸近くの葦の間でカイツブリが鳴く。桜並木をヒヨドリが飛ぶ。観察した野鳥 15 種、他に木の花 6 種、実 5 種、野草の花 15 種、花穂、実 7 種、蝶 5 種、トンボ 6 種、蝉 6 種、カメムシ 7 種、バッタ 3 種、蜂 4 種、ハエ 4 種、甲虫 5 種、カマキリ 2 種、蜘蛛 4 種、蛙 2 種を観察しました。なおクマゼミの鳴き声をここでは初めて聞きました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、ハシボソガラス、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、スズメ、ホオジロ 計 15 種 90 羽。

<調査者> 鈴木静治、船津登、池田日出夫、千葉洋 計 4 名

9 月手賀沼探鳥会

日時 2017.9.10 8:00~ 10:45

晴 微風 28

集合前は涼しく感じたが、暑くなりそうな

気配が漂ってきた。

到着したヒドリ橋の湾処の対岸はナガエツルノゲイトウで埋まっており、わずかな切れ目の葦に留まっているゴイサギ幼鳥がやっと確認できた。橋からは大津川をせき止めているナガエツルノゲイトウの驚くべき光景があり、鳥を駆逐してしまったように感じた。早めに飛来したミサゴを沖の杭に見られたのが救いだっただ。

ハヤブサを期待して鉄塔を眺めながら第2 機場へ向かうと、葦で警戒音を発するモズのそばにオオヨシキリの姿が。第2 機場では、釣り人が釣り上げた大きなライギョが鳥に代わって注目を浴びた。

お立ち台ではツバメやショウドウツバメの群れが飛び交っていたのが収穫だった。あけぼの橋近くにタマシギが確認されていたが、前日の下見では居る様子がなかったので、立ち寄りずに終了とした。市役所でオオタカが出現！

< 認めた鳥 > キジ、コブハクチョウ、カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、オオタカ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ショウドウツバメ、ツバメ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ 計 27 種

番外：カワラバト

< 参加者 > 船津登、西嶋昭生、間野吉幸、常盤孝義、相良直己、田丸喜昭、小玉文夫、小池忠彦、関口英治、古出洋子、森本宣久、藤川敏彦、野倉元雄、千葉洋、肥後邦彦、金子幸子、類地佑子、小林博之、榎本右、野口紀子、高波宣子、石渡成紀、小林寿美子、石井俊子、玉井修一郎、佐藤弘美、中根文世、青木明、坂元貴子、西城猛、百瀬喬（担当）松田幸保 計 32 名

9 月手賀沼定点カウント

調査日時 2017.9.5 9:00~ 12:10

快晴 微風 22 ~ 26

半年ぶりの減水で干潟にアオサギが見られ、手賀沼公園でもオオバンやカルガモが見

られた。

稲刈りの田で採餌や休息するチュウサギが確認された。

下沼でミサゴが見られ、飛翔するクロハラアジサシも確認された。またショウドウツバメの小群が飛び回る姿も見られた。

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	2	9	11
カルガモ	10	27	37
カイツブリ	7	5	12
カワウ	45	49	94
ゴイサギ	4	0	4
アオサギ	12	8	20
ダイサギ	13	6	19
チュウサギ	0	36	36
コサギ	7	3	10
バン	0	2	2
オオバン	0	1	1
クロハラアジサシ	0	1	1
合計	100	147	247

< 調査者 > 桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3 名

9 月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2017.9.7 8:30~ 10:35

曇り一時晴れ 無風 24

沼ではカワウが岸近くを飛び、カイツブリの鳴き声が聞こえる程度で野鳥は少なく、一部稲刈り後の田ではキジの幼鳥の群れ、コブハクチョウの家族、チュウサギが見られ、ピオトープの池ではカルガモ、コガモが泳ぎ、ダイサギ、カワセミが餌獲り、木の周りをシジュウカラ、コゲラ、スズメが飛び、ホオジロが囀る。上空をツバメ、ハシボソガラスが飛ぶ。観察した野鳥は 16 種。蝉はまだ鳴き、虫の音が多くなり、蝶、蜻蛉、バッタ等の虫が非常に多く観察され、野草の花も多く見られた。木の花 3 種、実 4 種、野草の花 25 種、花穂、実 13 種、蝶 18 種、蛾 4 種、トンボ 4 種、蝉 2 種、蜂 3 種、ハエ 6 種、甲虫 4 種、バッタ 8 種、カメムシ 4 種、カマキリ 1 種、蜘蛛 5 種、モグラの盛土、カナヘビ、亀、蛙、カタツムリも観察出来ました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ、ハシボソガラス、ツバメ、スズメ、ホオジロ 計 16種 73羽。

<調査者> 鈴木静治、間野吉幸、蒲田知子、船津登、池田日出夫 計 5名

三 番 瀬 探 鳥 会

9月3日

~三番瀬観察会に参加して~

菊池幸雄

初めて船橋海浜公園に行きました。幸いにも好天に恵まれて絶好の観察日和となり、多くのバードウォッチャーが集まっていました。

いつもは手賀沼周辺を散策している私ですが、手賀沼周辺では見ることのできないミヤコドリ、チュウシャクシギ、ソリハシシギやダイゼン等をたくさん見ることができてとても満足しています。特に潮が満ちてくるに連れて鳥さん達を身近で観察できたのは良かったと思います。

三番瀬は、鳥さん達にとって非常に大事な自然環境だと思います。一日も早くラムサール条約の指定を受けることを期待しています。

[幹事報告]

秋の渡りのシギ・チドリとの出会いを求めて、東京湾の干潟“三番瀬”に出かけました。

昨年に引き続き、三番瀬に最も詳しい、千葉県野鳥の会との交流探鳥会です。

日本一のミヤコドリの渡来地である三番瀬では、毎月第一日曜日に日本野鳥の会東京支部との共催で、千葉県野鳥の会の「三番瀬自然観察会」が行われています。

探鳥開始前に、日本野鳥の会東京支部の田久保さんより、三番瀬の今昔、ラムサール条約登録に向けての活動や、干潟の生き物に関し詳しい説明をいただきました。直近の鳥情報もご紹介いただき、期待に胸を膨らませ、10時過ぎに千葉県野鳥の会杉本さんのリーダーの下で探鳥がスタートしました。

この日は、朝 9 時少し前が干潮で、午後に向けてだんだん潮が満ちてきます。

探鳥開始時は、トウネン、ウミネコの群れが近くに見られるだけで、広大な干潟に他の鳥たちの鳥影は少なく、期待していたミヤコドリなど様々なシギチは何処にと幹事として不安のスタートでしたが、潮が満ちてくるにつれ、様々なシギチが飛来し、海岸近くに寄ってきます。待望のミヤコドリの群れも間近で見ることができ、今年も昨年同様に 16種のシギチに出会いました。

鳥合わせの際には、真上でチョウゲンボウとカラスのバトルの番外編もありました。満潮が近づき、鳥影が少なくなってきた 14時に現地解散し、帰路につきました。この時期としては、充実した探鳥会となりました。

ご案内、ご指導いただきました千葉県野鳥の会 杉本様、飯島様、二嶋様に感謝申し上げます。

<認めた鳥> オナガガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヒメアマツバメ、ムナグロ、ダイゼン、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ミヤコドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、キョウジョシギ、オバシギ、ミユビシギ、トウネン、ハマシギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、アジサシ、トビ、チョウゲンボウ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ツバメ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ

計 39種 番外 カワラバト

<参加者> 石井俊子、金子雅幸、川上貢、菊地幸雄、菊地昌江、桑森亮、小林千恵子、小林博之、小林美智子、坂元貴子、坂元孝行、鈴木美枝、鈴木麻理絵、鈴木尋貴、鈴木裕爾、鈴木幸子、関口英治、関口久美、高波宣子、多葉田五男、千葉洋、徳重玲子、新堀正則、新堀暖人、野口紀子、船津登、松田幸保、間野吉幸、吉田隆行、渡邊俊文（担当幹事）野口隆也、相良直己 計 32名

我 孫 子 ・ 柏 探 鳥 会

9月30日

~我孫子・柏探鳥日誌~

石渡成紀

久しぶりに探鳥会に参加しました。気候も

秋めいて暑さも和らぎ、絶好の探鳥日和です。今回は近場の探鳥会ということで、「利根川ゆうゆう公園」、「今井の桜並木」、「手賀の丘公園」の3か所を回ります。近場といっても「手賀の丘公園」以外は初めてです。それだけに今日はどんな鳥に出会えるか楽しみです。

最初の目的地は「利根川ゆうゆう公園」です。ここは利根川の河川敷にあり、野球場やサッカー場等を備えた広大な公園です。到着するや、モズが木の天辺から大声で迎えてくれました。幸先の良い出迎えに気をよくしていると、今度はダイサギが大きな羽を広げて大空をゆったりと舞い、その雄姿には感動しました。幹事が下見した時は、鳥は余り出なかったと聞いていたのですが、今日は期待できそうです。そのうち、広場の上空をチョウゲンボウが移動して行く。利根川縁に行く、黄色いカワラヒワが数羽、小さな樹木の上で風に揺られている。また、川下ではカルガモやコガモが大群をなし、向こう岸にはアオサギが静かに休息中で、目の前の川洲ではイソシギとセグロセキレイがお互いに近づき、威嚇し合う行動も観察できました。

次に向かったのが、桜の名所として知られている「今井の桜並木」です。ここでのお目当てはツツドリです。桜の繁みに隠れていないかと探しながら並木に沿って歩いていくと、誰かが「ツツドリ」と叫びました。確かに前方の桜の繁みにツツドリらしき鳥が1羽飛び込みました。後で聞くとツツドリを2羽確認したそうです。

最後にキビタキやエゾビタキを探しに「手賀の丘公園」に向かいました。ここでの探鳥ポイントは「じゃぶじゃぶ池」です。来てみると池の水が干上がっており、鳥が近づいてくれるかどうか不安です。しばらく待機していたのですが、案の定、鳥は一向に姿をみせてくれません。そこで、公園を出て手賀沼に向かいました。途中誰が見つけたのか、田んぼの奥の方にタシギがいるという。稲の切り株の間に潜んでいるというが、双眼鏡では確認できません。そこでスコープで見させてもらおうと、確かにタシギの茶色の背中と腹部の白い部分が確認できました。それにしても、こんな遠くに潜んでいる鳥をよくも探し出したと感心してしまいました。

今日は、お目当てのキビタキ、エゾビタキに出会えなかったのは残念でしたが、近場の探鳥会ということで、気軽に和気あいあいと楽しく過ごさせていただき大満足です。幹事さんはじめ皆様には大変お世話になりました。

【幹事報告】

今年度新企画のひとつ、近場探鳥会第一弾として「我孫子・柏探鳥会」を実施した。<利根川ゆうゆう公園>、<今井の桜並木>、<手賀の丘公園>を巡る今回は、幹事を含め計25名が参加。<ゆうゆう公園>は、初めて訪れた会員が11名と半数近かった。

当日は、昼前の曇り空も午後には快晴の探鳥日和となった。8時半、我孫子駅前に集合した参加者は、車6台に分乗し<利根川ゆうゆう公園>へ。下見では、午後だったせいか鳥の姿が少なく本番が心配されたが、午前への変更が功を奏したようで、チョウゲンボウ、カモ類、イソシギ、そして土手の杭にとまったヒバリ等、しばし探鳥を満喫。10時半：<手賀の丘公園>へ移動、休憩後<今井の桜並木>へ。目的のツツドリは、待つこと小一時間、ついに飛来。11時30分：<手賀の丘公園>へ移動、昼食。12時20分より：ジャブジャブ池 キャンプ場 染井入落し 手賀沼湖畔 カワセミの池 ジャブジャブ池。稲株から頭を覗かせるタシギ、荻の穂先にとまったセッカ、滑空するアジサシ、水場で一緒に水浴びするエゾビタキとキビタキ（ ）等々をはじめ、期待以上の41種の野鳥を観察することができた。解散：14時50分

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、オオバン、ツツドリ、タシギ、イソシギ、アジサシ、クロハラアジサシ、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、セッカ、ムクドリ、エゾビタキ、キビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ
計41種 番外 コジュケイ

<参加者> 間野吉幸、鈴木祐爾、鈴木幸子、

吉田隆行、小林博之、小林美智子、坂元貴子、石井俊子、桑森亮、野口隆也、相良直己、金子雅幸、野倉元雄、金子幸子、佐藤弘美、古出洋子、高波宣子、百瀬喬、中根文世、中根忠、青木典子、古賀嗣朗、石渡成紀（幹事）船津登、千葉洋 計 25 名

第 26 回 野鳥サロン

第 26 回野鳥サロンを 9/16(土)9:30~11:00 水の館 3F 研修室で実施しました。始めのテーマは「拾った一枚の羽から何がわかるか」で、2009~2016 年に鈴木が拾った比較的まとまって拾った羽 1.カワラヒワ 2.ヤマドリ 3.アオバト 4.トラツグミについて話した。羽の A.模様・サイズより種名、B.拾った場所より生息場所、C.羽の散乱状態より落羽の理由、さらに D.その鳥の生態を知ること、また E.羽の保存することによりその鳥に親しみがわきます。次のテーマ「バードウォッチング時注意すべき虫」では 1.蚊(ヒトスジカ、イソナカカ) アブ(イヨシロオビアブ)、2.ドクガ、3.蜂(コガタズメバチ)、4.カメムシ(ヨコズナサシガメ)、5.マダニ、6.蜘蛛(カバキコマチグモ)、7.ムカデ、8.ヒル(ヤマビル)、9.アリ(ヒアリ)、10.蛇(ヤマカガシ)等に刺されたり咬まれたときの害(アレルギー、病気)まれに死に至ることもあることを話した。草むら、藪に入る時は、足から頭まで肌を出さないこと、蜂、蛇は刺激しないこと、知らない動物に触れないこと、刺されたり咬まれて重症の時には病院へ行くことが必要なことを話した。三番目のテーマは学生のころから本会の運営に携わってこられた西城さんより「手賀沼周辺の鳥および経験されたこと」について話して頂いた。西城さんが入会された頃は、手賀沼にも水鳥、カモ類が多く、探鳥会では沼の水面を見ていたのに対し、最近では水鳥が少なくなり、水田の方向を見ることが多くなった。そのころはコブハクチヨウもいなかった。カモ、特にハジロ類が少なくなったように感じる。越冬地、手賀沼周辺の環境変化と繁殖地、シベリアの開発による影響が大きいのではと思われる。利根川からの導水路で沼に水をいれるようになり様

相が変わった。鳥を含む自然の動物、虫、樹、草等に親しむことにより、環境を守りひいては野鳥を守ることになるとの話あり。色々話が弾み設定した 1 時間半では時間不足で閉会したので、次回からは 2 時間くらい時間を設定するのが良いと思われた。

<参加者> 桑森亮、小林千恵子、千葉洋、小林博之、小林美智子、金子幸子、青木典子、池田日出夫、松田幸保、石井俊子、古出洋子、金子雅幸、松村洋子（担当）小林寿美子、西城猛、鈴木静治 計 16 名

9月役員会報告

日 時 9月10日(日) 13:00~17:00
場 所 水の館 3F 研修室

出席者数 19 名

議 事

1. JBF2017 出展について

各ブースの出展計画等について、担当役員の報告・提案に基づき検討し、決定しました。概要は次の通りです。

(1) 第 3 回実行委員会の報告及び船上 BW 有料化への対応

- ・出展配置図、海外からの出展状況と連絡体系、広報チラシ等が紹介されました。
- ・当会の展示ブースは「オオバン広場」で、台湾・モンゴルのブースに隣接して設営されます。
- ・第 3 回実行委員会で財政難に伴う船上 BW の有料化が議論され、これを踏まえて JBF 事務局から船上 BW 有料化の提案を受けました。当会としての対応を検討した結果、当会は受付等の業務代行は行わず、船上でのガイドに専念することを条件に提案を了承することにしました。

(2) 出展内容及び役員分担表の確認

- ・出展内容と役員の分担を確認し、了承されました。
- ・今年も当会との親交が深い台湾とモンゴルから出展があり、当会がサポートします。

(3) ブース 1 「パネル展示」の計画

- ・当会の活動概要や探鳥会での写真など

をパネル等で展示します。

- ・手賀沼の水鳥の変遷について、カウン
ト調査データや増減した鳥などを図表
や写真で展示します。

(4) ブース2「塗り絵とパタパタ工作」の
計画

昨年同様に「野鳥の塗り絵とパタパ
タ工作」を実施します。

(5) ブース3「庭に鳥を呼ぶ」の計画

- ・昨年同様「庭に鳥を呼ぶ」をテーマに
鳥の餌となる身近な草木や人工餌を展
示します。
- ・草木の標本は生け花方式や吊り下げ式
により展示し、フィーダーには小鳥の
ペーパークラフトを飾るなど、見て楽
しめるよう工夫をします。
- ・今年は、マンリョウの苗木を用意し来
場者にプレゼントします。

(6) 湖畔バードウォッチングの計画

- ・昨年同様に河童噴水前展望デッキにテ
ントとスコープを8台程度設置し、来
場者にバードウォッチングを体験して
貰います。
- ・当会の紹介パネル、観察できた写真等
をパネルボードに掲示します。

(7) 船上バードウォッチングの計画

- ・今年は初日の船の運航が1便増え4便
となります。2日目は昨年同様3便で

す。

- ・今年から有料化となり、受付等の業務
はJBF実行委員会事務局が担当し、当
会は船上でのガイドに専念します。

2 あびこショッピングプラザでのパネル展
示について

あびこショッピングプラザ(エスパ)で
のパネル展示について事務局からの提
案に基づき検討し、大綱提案通り決定し
ました。9/16~30にパネル8枚を展示
し、当会パンフレットも設置しました。

3 . ほーほーどり 259号掲載予定記事
会報259号の掲載記事について検討し、
執筆担当等を決定しました。

4 . 2017年度芋煮会について
担当役員からの提案に基づき検討し、
提案通り決定しました。手賀沼遊歩道探
鳥会も併せて実施します。詳細は行事案
内をご覧ください。

5 . 第27回「野鳥サロン」について
11月に開催予定で、詳細は行事案内をご
覧下さい。

6 . 報告事項
次の事項が報告されました。
対外対応状況
事務局報告事項(資料配布)

以上

鳥 だ よ り

夏は鳥の種類も数も少なくなり寂しくなる季節なのですが、今年は冬鳥の飛来が早くなっているようです。シベリアに行って子育てしてきたユリカモメが8月1日に、コガモが9月4日に初認されました。例年よりも早いお目見えです。

チュウサギの報告が数多く寄せられました。コロニーを作り集団で暮らす鳥ですが、200羽・300羽というすごい数字で報告されています。今年は特に数が多いように思えます。

タマシギの報告が何件もありました。メスがオスを順に回って、オスに抱卵させ育雛させると言われていますが、それを裏付けるような現場が観察されています。

一方で、オナガの報告数が少なく、しかも一群れの数も3羽程度と少ないようです。手賀

沼流域に生息するオナガの社会に何かが起こっているのか、気になるところです。

大津川河口近くの浅瀬でアオアシシギが休んでいました。今のように手賀沼の水面が高くなかった頃はアオアシシギをはじめ、エリマキシギ、オジロトウネンなどが秋口から冬にかけてよく滞在していたと聞いています。これからも会える機会が多くなってほしいものです。

エナガの分布域や繁殖エリアが拡大しているとの報告がありました。興味深いところです。この時期でもツバメはまだ多く残っていました。少なくなっている雀が 50 羽の群れで見られたとうれしい報告もありました。

さて、いよいよバードウォッチングの季節になって来ます。この冬はどんな鳥に会えるのが楽しみですね。

船津登

- 7.21 [布瀬] ヨゴイ(3)
成鳥の周囲の蒲の中を幼鳥が動く 鈴木静治
- 7.22 [手賀新田] フウキ(10)
上空を三々五々飛ぶ 鈴木静治
- 7.22 [布佐平和台] 伽斗リ(1)
調整池の中でカヌを威嚇するように激しく鳴く 鈴木静治
- 7.24 [古戸] ヲシ(1)
葦原上の小さな柳の頂で盛んに囀る 鈴木静治
- 7.24 [布佐平和台] 伽斗リ(1)
調整池の水溜り中を走り回る 鈴木静治
- 7.24 [泉村新田] 材カ(1)
電柱に止まる 船津登
- 7.24 [東中新宿] ウミ(2)
自宅上空を飛翔 飯泉久美子
- 7.25 [浅間前] セッカ(3)
田の上を囀りながら飛び回る 鈴木静治
- 7.25 [大井新田] クイ(1)
水田を移動しながら鳴いていた 吉田隆行
- 7.27 [東中新宿] サバ(1)
カラスに追尾され木の枝に 飯泉久美子
- 7.27 [江蔵地] ヒ(1)
河原上空を巡回する 鈴木静治
- 7.27 [柏市中央体育館] コアカ(5)
親が雛に餌を運び、給餌、糞の持ち出しをしていた 吉田隆行
- 7.28 [戸張新田] ハブサ(1)
鉄塔 95 から飛び出すも失敗 吉田隆行
- 7.28 [大津川橋] コド(2)
盛んに鳴き擬傷の様子 吉田隆行
- 7.31 [染井入新田] サバ(1)
電柱に止る 船津登
- 7.31 [片山(手賀の丘公園)] ヤガラ(2)
- 8.01 [手賀沼] クイ(1)
上沼 1 金子雅幸・船津登・桑森亮
- 8.01 [手賀沼] コカ(1)
下沼 1 金子雅幸・船津登・桑森亮
- 8.02 [千間橋] フウ(3)
鉄塔下部に止まり、飛び立つ 鈴木静治
- 8.03 [岡発戸新田] セッカ(1)
水田上を囀りながら飛ぶ 鈴木静治・船津登・池田日出夫・千葉洋
- 8.04 [千間橋] フウ(3)
偽装船に止まり休む 鈴木静治
- 8.04 [柏市中央体育館] コアカ(6)
巣立ち雛が巣に戻り、親から餌をもらっている様子 吉田隆行
- 8.07 [酒井根 6 丁目下田の森] サバ(1)
北側斜面林の上を飛翔 飯泉仁
- 8.11 [戸張新田] ハブサ(1)
鉄塔 96 上部に止まっていた 吉田隆行
- 8.12 [布瀬] ヨゴイ(1)
鳴き声 飯泉仁・飯泉久美子
- 8.12 [片山新田] ノリ(1)
道路脇電柱に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 8.14 [戸張新田] ハブサ(1)
鉄塔 96 上部に止まっていた 吉田隆行
- 8.15 [北新田] ヒ(1)
電柱に止まっていた 畠中暁美・松田幸保他 6 名
- 8.15 [北新田] フウ(1)
飛翔 畠中暁美・松田幸保他 6 名
- 8.15 [北新田] セッカ(9) 北新田
畠中暁美・松田幸保他 6 名
- 8.16 [片山(手賀の丘公園)] 材カ(1)
上空を飛ぶ 船津登
- 8.16 [発作] マキ(3)
フウの群れに混じり休む 鈴木静治
- 8.17 [泉村新田] ノリ(1)

電柱に止る	船津登	金子雅幸・船津登・桑森亮
8.21 [曙橋] ㄨㄗ (2)		9.05 [手賀沼辺] ㄗㄨㄗ (36) 下沼 36
稲刈り後の田圃で採餌	桑森亮	金子雅幸・船津登・桑森亮
8.21 [中沼田] ㄗㄨㄗ (4)		9.05 [手賀沼辺] ㄗ (2) 上沼 1 下沼 1
田の上を囀りながら飛び回る	鈴木静治	金子雅幸・船津登・桑森亮
8.21 [曙橋] ㄨㄗ (7)		9.05 [手賀沼辺] ㄗㄨㄗ ㄗ (2) 下沼 2
稲刈り後の田圃で休む	桑森亮	金子雅幸・船津登・桑森亮
8.21 [曙橋] ㄗㄨㄗ (4)		9.06 [酒井根 6 丁目下田の森] ㄗㄨㄗ (1)
稲刈り後の田圃で休む	桑森亮	鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
8.21 [水道橋] ㄗㄨㄗ (4)		9.06 [片山新田] ㄗㄨㄗ ㄗ (4)
水路周辺で採餌	桑森亮	上空を飛ぶ 船津登
8.22 [発作] ㄗㄨㄗ (106)		9.07 [岡発戸新田] ㄗㄨㄗ (3)
川岸の塘に休む	鈴木静治	刈田で餌獲り 鈴木静治・
8.23 [染井入新田] ㄗㄨㄗ (2)		船津登・間野吉幸・池田日出夫・蒲田知子
葦原の近くで動く	船津登	9.08 [江蔵地] ㄗ (1)
8.23 [曙橋] ㄨㄗ (7)		農道の電柱より飛び立つ 鈴木静治
上沼田の稲刈り後の田圃で	の	9.08 [千間橋] ㄗㄨㄗ 約 (120)
ペア求愛	百瀬喬	川岸に群れ休む 鈴木静治
8.24 [布瀬新田] ㄗㄨㄗ ㄗ (1)		9.08 [発作] ㄗㄨㄗ (200)
田の中の鉄塔下部に止まる	鈴木静治	川の両岸に群れ休む 鈴木静治
8.25 [発作] ㄗㄨㄗ (200)		9.08 [片山新田(手賀沼側)] ㄨㄗ (1)
川岸の塘で休む	鈴木静治	干潟でじっとする 船津登
8.25 [発作] ㄗㄨㄗ (4)		9.09 [中峠] ㄗㄨㄗ (2)
川岸の塘で休む	鈴木静治	7月15日の巣立ち約2か月以来の再会
8.28 [片山(手賀の丘公園)] ㄗㄨㄗ (5)		松本勝英
	船津登	9.10 [大井新田先手賀沼] ㄗㄨㄗ (1)
8.30 [発作] ㄗ (1)		浅瀬の葦の上で休んでいた
川、田の上を旋回する	鈴木静治	飯泉仁・飯泉久美子
9.01 [高野山新田] ㄗㄨㄗ (1)		9.10 [発作] ㄗㄨㄗ (360)
上空を飛翔	桑森亮	両川岸の塘で休む 鈴木静治
9.01 [千間橋] ㄗㄨㄗ (113)		9.10 [発作] ㄗㄨㄗ ㄗ (1)
川岸の塘に休む	鈴木静治	川の上空を飛ぶ 鈴木静治
9.01 [発作] ㄗㄨㄗ (2)		9.11 [片山新田(手賀沼側)] ㄗㄨㄗ (3)
川岸の塘に休む	鈴木静治	干潟で採食 船津登
9.01 [手賀沼公園] ㄗㄨㄗ (1)		9.11 [片山(手賀の丘公園)] ㄗㄨㄗ (1)
水辺の砂州で採食	百瀬喬	上空を飛ぶ 船津登
9.01 [中里新田] ㄨㄗ (1)		9.11 [片山(手賀の丘公園)] ㄗㄨㄗ (1)
1羽	百瀬喬	上空を飛ぶ 船津登
9.02 [中沼田] ㄗㄨㄗ (1)		9.12 [千間橋] ㄗㄨㄗ (1)
稲刈り中の耕耘機の周りで採食	百瀬喬	川原の葦の茂みで囀る 鈴木静治
9.04 [片山新田(手賀沼側)] ㄗㄨㄗ (1)		9.12 [発作] ㄗㄨㄗ ㄗ (1)
葦原の水辺で泳ぐ	船津登	建物上に止まり、飛ぶ 鈴木静治
9.05 [手賀沼] ㄗㄨㄗ (2) 下沼 2		9.12 [発作] ㄗ (1)
金子雅幸・船津登・桑森亮		川の上空を飛ぶ 鈴木静治
9.05 [手賀沼] ㄗㄨㄗ (1) 下沼 1		9.12 [発作] ㄗㄨㄗ (16)
金子雅幸・船津登・桑森亮		川岸の塘で休む 鈴木静治
9.05 [手賀沼] ㄗㄨㄗ (1) 下沼 1		9.12 [片山新田] ㄗㄨㄗ (1)

- 電柱に止る 船津登
 9.13 [片山 (手賀の丘公園)] ツコチヨク(1)
 杉の木で動く 船津登
 9.13 [片山 (手賀の丘公園)] 札`舛(1)
 桜の木に止る 船津登
 9.13 [片山新田(手賀沼側)] ヲド`リ(1)
 干潟で採食 船津登
 9.14 [北柏4丁目] コアカハ`メ(1)
 電線に止まっていた 千葉洋
 9.15 [北新田] ヲウガ`ンボ`リ(3) 飛翔
 畠中暁美・松田幸保・桑森亮ほか 10名
 9.15 [北新田] セツカ(1)
 畠中暁美・松田幸保・桑森亮ほか 10名
 9.16 [片山新田(手賀沼側)] ヒク付(1)
 葦の根元に現れる 船津登
 9.16 [片山新田(手賀沼側)] 舛`キ` (2)
 干潟で採食 船津登
 9.16 [大井新田地先上沼] カハラア`サシ(1)
 飛びながら、時折水面へ急降下して採餌
 吉田隆行
 9.16 [あげぼの山公園] イヅビ`舛(1)
 桜の木のてっぺんに確認 百瀬喬
 9.17 [下沼田] 双`メ(50)
 農道より葦原に飛ぶ 鈴木静治
 9.18 [片山新田(手賀沼側)] ウミネコ(4)
 沼の杭に止る 船津登
 9.18 [片山新田(手賀沼側)] アヅ`サシ(7)
 沼の杭に止る 船津登
 9.19 [片山 (手賀の丘公園)] ノリ(1)
 木に止る 船津登
 9.19 [片山 (手賀の丘公園)] ヤガラ(5)
 船津登
 9.19 [大井新田地先上沼] バン(2)
 泳いでいた 吉田隆行
 9.19 [大井新田地先上沼] ミヅ` (1)
 上空を飛び魚を探している様子
 吉田隆行
 9.20 [片山新田(手賀沼側)] ヲゴ`イ(1)
 葦原を飛ぶ 船津登
 9.20 [片山新田(手賀沼側)] ショウ`ウハ`メ(20)
 上空を飛ぶ 船津登

ウミネコ、エゾビタキ、エナガ、オオタカ、
 オオバン、オオヨシキリ、オナガ、オバシ
 ギ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワ
 セミ、カワラヒワ、キジ、キジバト、キビ
 タキ、クイナ、クロハラアジサシ、ゴイサ
 ギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コシアカツ
 バメ、コチドリ、コブハクチョウ、コヨシ
 キリ、サシバ、サンコウチョウ、シジュウ
 カラ、ショウドウツバメ、スズメ、セグロ
 カモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサ
 ギ、タシギ、タマシギ、チュウサギ、チョ
 ウゲンボウ、ツバメ、トウネン、トビ、ノ
 スリ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハ
 シボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、
 ヒバリ、ヒヨドリ、ホオジロ、マガモ、
 ミサゴ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モ
 ズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシゴイ
 以上 68種 <番外種> アヒル、カワラバト、
 コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	107
飯泉仁・飯泉久美子	62
飯泉久美子	3
金子雅幸・船津登・桑森亮	44
桑森亮	20
鈴木静治	271
鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出夫・ 蒲田知子	16
鈴木静治・船津登・池田日出夫・千葉洋	18
千葉洋	1
畠中暁美・松田幸保・桑森亮ほか 10名	28
畠中暁美・松田幸保ほか 6名	24
平岡考	1
船津登	101
松本勝英	1
村井みとい	1
百瀬喬	16
吉田隆行	21
総計	735

今回寄せられた鳥の全種名

(弘實和昭)

アオアシシギ、アオサギ、アジサシ、アマ
 サギ、イカルチドリ、イソシギ、ウグイス、

会員だより (ab-yacho より)

【ミサゴの到来】

2017.09.07 松田幸保

4日の夕方に手賀沼公園の最先端から一番近い杭にミサゴが止まっていました(奥には手賀沼病院が見えました)。

これまでになく近かったので昨夕も行ったところ、同じ杭で魚を食べていました。今年もJBFが楽しみです！

【Re ミサゴの到来】

2017.09.07 松本勝英

ミサゴニュース有難うございます。私は、5日ヒドリ橋から探しましたが、見当たらなかったです。というよりも、河口寄りにナガエツルノゲイトウが完全に川幅一杯でした。

湾処(ワンド)も周囲に繁茂していましたが、その切れ目の杭にゴイサギ親2、ホシゴイ1羽がいました。

【中峠にサシバ再来】

2017.09.09 松本勝英

本日、9時半から、日課の「犬の散歩」に出掛けました。家を出て、突き当りの林の樹上に猛禽類らしいのが目に入りました。まさかと思いながら、カメラを向けると「サシバ」!

7/15に巣立ちヒナと共に、姿を消したまま、約2か月以来の再会です。

この間、彼ら一家はどこに行っていたのでしょうか?

子離れして、南に帰る途中に立ち寄ったのでしょうか?

後頭部に白い斑紋があるのは確認できましたが、親個体かは不明です。いつまで、中峠に居てくれるかも分かりません。ただ、夏在所での見張り位置や、2羽の飛翔姿は彼らに全く同じです。

【鳥だより コシアカツバメ】

2017.09.16 千葉洋

一昨日散歩していたら電線に見慣れない鳥が一羽とまっていました。

目視では判然としなかったので、デジカメの望遠をいっぱい使って撮影し家で確認してみたところ、初めて見るコシアカツバメのようでした。

名前の由来の「腰赤」は、写真では、背中の一部に赤い部分が羽の隙間に見えるだけですが、体下面の黒く細い縦斑ははっきり確認できます。こんなセーターがあってもいいですね。シャッターを押すのを待っていてくれるように2分近く電線でじっとしていましたが、その後、飛び立ってゆきました。

【カケスが鳴いていました】

2017.09.21 平岡考

今日の昼、山階鳥研の裏山でカケスがジャーと鳴いてました。私はこの秋初めて聞きました。合間に、つぶやくような「クィ」という、あまり聞いたことがない声がしてました。ひょっとするとこれもカケスが言っていたのかもしれない。

【Re カケスが鳴いていました】

2017.09.21 田中功

平岡さん文中の、《合間に、つぶやくような「クィ」という、あまり聞いたことがない声がしてました。ひょっとするとこれもカケスが言っていたのかもしれない。》について、気になって、カケスの出す鳴き声ないし、カケスの出す「音」について、チョットだけ調べてみて、思うところ、を以下簡単に述べますと・・・

信頼性の高い、BirdLife International データシートを見ていくと、カケスの出す鳴き声ないし「音」について、鳴き声ではなく、カケスの大好物で主食ともいえる、ドングリをカケスが食べる際に 嘴とドングリの摩擦音 として 出る音、ではないか? とフト、思いました。実験はまだしていませんが・・・。

【中峠のサシバその後、他】

2017.09.22 松本勝英

中峠のサシバは、台風 18 号を回避するため(?) 2 日程留守でしたが、まだ中峠の林に居留しています。昨日は自宅脇の林に 3 羽止まっていた。その後上空にもう 1 羽巡回飛翔していましたので、一家と思います。

あと、手賀沼曙橋沿いの野球グラウンド脇の電柱にノスリを見ました。季節の節目なのか、最近、モズが活発になっている感じです。

【Re カケスが鳴いていました】

2017.09.23 田中功

平岡さんの“カケスがジャーと鳴いてました。私はこの秋初めて聞きました。合間に、つばやくような「クイ」という、あまり聞いたことがない声がありました。ひょっとするとこれもカケスが言っていたのかもしれませんが。”について、平岡さんが仰るところの、「つばやくような「クイ」という声」が、実際あって、ソナグラムにも記録されているのを見つけました。

IBC (Internet Bird Collection) の「Sound recordings of Eurasian Jay(Garrulus glandarius)」の中の、Stuart Fisher 氏の“Calls or partial song of an individual”です。40 秒間ほどのコーディングで、2 回ないし 4 回ほどのやや高周波のリピート鳴きで、「クイー・・・クイ・・・クイ・・・クイ・・・」と聞こえます。暫く pause があって、あと、断続的にこれを繰り返す、というものです。(録音地は London, England となっています。)

かかる鳴き声の意味は、何なのか? 鳥、動物の鳴き声の鳴き真似か? カケス本来の(知られざる)鳴き声なのか? 興味があります。

【中峠のサシバその後、他】

2017.09.27 松本勝英

台風一過で、渡りに入ったかとも思っていたましたが、まだ一家は留まっているようです。

秋分の日には、4 羽を確認できました。今日は梢に止まった 1 羽だけでしたが・・・。

その周辺の林から、カケスの声が響いています。姿はなかなか難しいです。水路から、今季初めて、キセキレイ 2 羽が飛び立ちました。目前を自慢げに流れるように一周して樹間に消えてゆきました。後を追うように、カワセミがひょっこり姿を見せたり、モズがけたたましくさえずったり、静かだった中峠に鳥たちが戻ってくれて賑やかになっています。

会からのお知らせ

<新入会員> 新堀 正則・暖人(鎌ヶ谷市在住)

ほーほーどり No. 259 (2017年 11~12月号)

発行 2017年 11月 1日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel: 04 7182 3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)